


研究機関名	東京大学総合研究博物館				
プログラム名	大学博物館で触れる標本研究				
先生(代表者)	久保 泰(くぼ たい)・日本学術振興会・特別研究員(RPD)				
自己紹介	私は恐竜時代の動物の研究をしています。私の所属する大学博物館には、文系の考古学から理系の地学や生物学までの多様な研究者がいます。今回は、私の他にも、ウナギや蝶、隕石、年代測定など多様な分野の研究者が、皆さんにそれぞれの研究を紹介してくれます。				
開催日時・募集対象	2020年8月12日(水) 2020年8月13日(木)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	各回20名
集合場所・時間	東京大学総合研究博物館			(集合時間)	9:30
開催会場	東京大学総合研究博物館 住所: 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 アクセスマップ URL: <a href="http://www.um.u-tokyo.ac.jp/information/map.html">http://www.um.u-tokyo.ac.jp/information/map.html</a>				
内 容					
<p>大学博物館のバックヤードツアー</p> <p>&lt;AMS ツアー&gt; 炭素 14 を数える加速器質量分析計(尾寄大真・年代学)</p> <p>加速器質量分析計は極めて少ない量の同位体を数えるための装置です。資料の中に残っている、決まった速度で減少する放射性同位体・炭素 14 を数えることで、資料がどのくらい古いかを知ることができます。加速器質量分析計の実物を間近に見ながら、その仕組みを解説します。</p> <p>&lt;博物館の収蔵庫: データベースから標本を探す&gt; (久保泰・古生物学)</p> <p>博物館では展示されているよりもはるかに多くの資料が収蔵庫で保管されています。東京大学総合研究博物館ではそれらの標本の多くがデータベースで公開されています。みなさんにも、ネット上で公開されているデータベースから興味のある標本を決めてもらい、実際に収蔵庫から標本を探しだして観察をしてもらいます。実はこの標本の探し方は研究者が他の博物館や大学の標本を観察する際に行う作業と全く同じです。標本研究の流れを体験する事で、標本の管理が研究においていかに重要か、皆さんから普段は見えないところで行われている博物館の仕事を体感してください。</p> <p>研究者と標本に触れるハンズオン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>、「標本でつくる昆虫の分布図」 (矢後勝也・東京大学総合研究博物館・助教)</li> <li>、「環境 DNA からみた東京湾の魚」 (黒木真理・東京大学農学生命科学研究科・助教)</li> <li>、「隕石から探る初期太陽系の形成」 (新原隆史・東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻・助教)</li> <li>、「ミクロな傷跡から歯の働きを探る」 (久保泰・東京大学総合研究博物館・学振特別研究員)</li> </ul>					

持ち物	特記事項
筆記用具	実験をするので、動きやすい靴、服装でお越しく下さい。
スケジュール	
<p>【中学生】12日(水)/【高校生】13日(木)とも同一日程</p> <p>9:30-10:00 受付(東京大学総合研究博物館常設展示室入り口)</p> <p>10:00-10:15 開会式(大学博物館および科研費の説明)</p> <p>10:15-12:00 収蔵庫および加速器質量分析計の見学</p> <p>12:00-13:00 昼食</p> <p>13:00-15:50 ハンズオン</p> <p>(上記の4つのプログラム:1プログラム30分×4、班入れ替えに10分×3)</p> <p>16:00-16:45 ディスカッション、アンケート調査、修了式</p> <p>16:45 解散</p>	

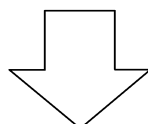
課題番号	20HT0059	分野	地学・生物	キーワード	ハンスオン 標本研究
------	----------	----	-------	-------	------------

## 《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	東京大学総合研究博物館・久保 泰
住所	東京都文京区本郷7-3-1
TEL番号	03-5841-2481
FAX番号	
E-mail	taikubo@um.u-tokyo.ac.jp
申込締切日	2020年7月25日(土)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

## 《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2017年度 ~ 2019年度	若手研究(B)	17K14411	哺乳類の咀嚼運動様式の進化をさぐる：歯の微細摂食痕の三次元解析
2014年度 ~ 2015年度	若手研究(B)	26800267	恐竜の各分類群の摂食様式の違いと初期放散の時期の違いの関係の解明



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000040719473>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。